

記入例

農地法第5条の規定による許可申請書

年 月 日

石川県知事 殿

譲受人 氏名 **川北次郎** (印)
 譲渡人 氏名 **川北太郎** (印)

下記によって転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定、移転したいので、農地法第5条の規定によって許可を申請します。

1 当事者の氏名住所及び職業

当事者の別	氏名	住所	職業
譲受人	川北次郎	石川 都道 能美 郡 川北 町 △△△番地	会社員
譲渡人	川北太郎	石川 都道 能美 郡 川北 町 △△△番地	会社員

2 許可を受けようとする土地の所在・地番・地目・面積・利用状況・普通収穫高及び耕作者の氏名

土地の所在	地番	地目		面積	利用状況	10a当たり普通収穫高	耕作者の氏名	市街化・市街化調整・その他の区域の別
		登記簿	現況					
能美郡川北町字 老ツ屋	174	田	田	600㎡				その他
計 600㎡ (田 600㎡ 畑 ㎡ 採草放牧地 ㎡)								

3 転用計画

(1)転用の目的	住宅敷地	(2)権利を設定し、又は移転しようとする理由の詳細 自己住宅建設のため
----------	-------------	---

(3)事業の操業期間又は施設の利用期間	□□年 □□月 □□日から 永年 間
---------------------	---------------------------

(4)転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	第1期(第1年〇月〇日から〇年〇月〇日まで)				第2期(第1年〇月〇日から 年 月 日まで)				合計			
	名称	棟数	建築面積	所要面積	名称	棟数	建築面積	所要面積	棟数	建築面積	所要面積	
土地造成			600㎡				㎡				㎡	
建築物	住宅	1	150㎡				㎡				㎡	
小計												
工作物												
小計												
計		1	150㎡	600㎡								

4 権利を設定・移転しようとする契約の内容				
権利の種類	権利の設定・移転の別	権利の設定・移転の時期	権利の存続期間	その他
所有権	設定・移転	許可後	永年	
5 資金調達についての計画	資金内容			
	総事業費	〇〇〇〇〇円	総事業費	〇〇〇〇〇円
	内自己資金	〇〇〇円	内用地買収費	〇〇〇円
	借入金		農地分	〇〇〇円
	借入先		その他の土地	〇〇〇円
	〇〇銀行	〇〇〇円	土地造成費	〇〇〇〇円
			建物建築費	〇〇〇〇円
		道路建設費	円	
		その他	円	
6 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害の防除施設の概要	・隣地との境界に擁壁を布設 ・既存の畔を利用し、擁壁等は布設しない。 等、対応を記入すること。			
	7 その他参考となるべき事項	特になし		

記載注意

- 氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。
 - 関係者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容をそれぞれ記載する。
 - 譲渡人が2人以上である場合等には(別記注)によるものとする。
 - 「利用状況」欄には、田にあつては二毛作、一毛作の別、畑にあつては普通畑、果樹園、桑園、茶園、牧草地、その他の別、採草放牧地にあつては主な草名又は家畜の種類を記載する。
 - 「10a当たり普通収穫高」欄には、採草放牧地にあつては採草量又は家畜の頭数を記載する。
 - 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄は、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6箇月単位で区分して記載する。
- 〔別記注〕 譲渡人が2人以上である場合には、申請書の差出人は「譲受人何某」、及び「譲渡人何某外何名」とし、申請書の1及び2の欄には「別紙記載のとおり」と記載して申請できるものとする。